

▶ 決算特別委員会では
水道局、建設局、健康局の
審査で質疑しました



令和4年度決算議案は、代表質疑の後に設置された
決算特別委員会で局別に審査が行われました。

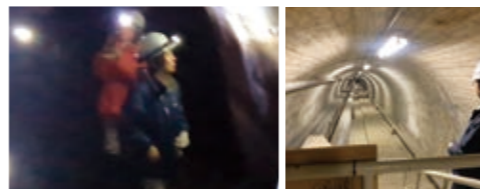
決算特別委員会での 平井まち子の質問項目

建設局

- 1 維持が困難な特殊な住宅排水設備への支援を
- 2 高取山の登山環境の維持について
- 3 快く美緑化ボランティアを行える柔軟な公園の活用への見直しを
- 4 明石市との道路ネットワーク整備について

水道局

- 1 経営状況について
説得力のある広報を
- 2 4 拡送水トンネルの更生の
進捗は?
- 3 水質管理について



▲改修のため60年ぶりに水を止めている4 拡送水トンネルを会派の有志で視察。市民の水は六甲山系の中を通る送水トンネルに支えられています。

健康局

- 1 小学校でのフッ化物洗口の推進について
- 2 猫との共生について
- 3 食育動画の活用を

information

LINE 公園や道路の不具合を見つけたら
LINEで教えてください

情報をもとに現場を確認し修繕などの対応をします。
あなたの投稿で、もっと安全で暮らしやすいまちに。

STEP 1 「公園/道路」を押す

STEP 2 「不具合を投稿する」を押す

STEP 3 市からの質問に対して会話するように状況を報告

神戸市会ナビがスタート!

12月7日の本会議では、
一般質問を行います。
質問の様子をご覧ください。

11月議会では、
令和5年度補正予算をはじめ、
市議会提案案 30件、
議員提出議案 1件の
審議を行いました。

市会ナビ
神戸市会ナビ

神戸市会ホームページの更新情報や
豆知識などはこちら

神戸市会 X

市議会まめちき | その日
議会の座席は
どのように決まっているの?

議会の座席は
会議ごとに変わっています。
会場で議席の
違いが分かるように
表示しています。

「神戸市会が何をしているのかよくわからない」の声に応えるため
新しいサイトをオープンしました。

神戸市会ナビ ▶ 検索

お問い合わせ
連絡先

自由民主党
神戸市会議員団

中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
TEL. 078-322-5846
FAX. 078-322-6164

平井まち子
事務所

長田区五位ノ池町3-9-30
TEL.& FAX. 078-643-0647(電話は月~金 9時~17時)
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

市政へのお問い合わせ | 神戸市総合コールセンター ☎ 078-333-3330 (年中無休 8:00~21:00)

自由民主党 神戸市会議員団 市政NEWS

長田区版
2023-24 冬号
【発行】
自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
神戸市役所1号館28階

[編集] 長田区選出 5期目
自由民主党 神戸市会議員団 団長
平井まち子

9月議会で決算議案に 代表質問を行いました

第3回定例市会の9月議会(9月14日~10月24日)、
11月議会(11月29日~12月8日)についてご報告します。
神戸市令和4年度決算を審査する9月議会では、
決算審査の代表質疑に平井真千子が登壇しました。
また決算特別委員会では水道局、建設局、健康局の審査で質疑。
こうした質疑を経て決算議案はすべて認定されました。
また11月議会では住民税非課税世帯への7万円給付や
1人暮らしの学生への物品支援などを含む補正予算を可決しました。

議事録・録画配信は
神戸市会ホームページ



神戸市会

検索

| 平井まち子の代表質問要旨(抜粋) |

1 国際チャーター便誘致に向けた取り組み

Q 悲願であった神戸空港の国際化について、2025年に国際チャーター便、2030年前後には、国際定期便の就航が可能となる方針が示された。2025年まで限られた時間の中で、全庁一丸でチャーター便誘致に取り組む必要があるが、どのような組織体制で取り組んでいるのか。

A 限られた時間の中で国際チャーター便誘致、インバウンド誘客やビジネス需要、空港の利便性向上などに取り組むため、港湾局・企画調整局・経済観光局・都市局の4局で神戸空港国際化本部を構築している。現在国際チャーター便の誘致については主に東アジア、東南アジア地域の

国々を中心に、観光ニーズや訪日旅行商品の実情など、各国旅行会社へヒアリングなどに取り組んでいる。全庁一丸となり2025年に向け全力で取り組みたい。



整備予定のサブターミナル(イメージ)

なぜ、サブターミナルを整備するのか?

国際化に向けた機能強化が必要です!

2025年4月の国際チャーター便の解禁と同時に、1日80便から120便(60往復)へと国内線の発着枠拡大も予定、2030年の国際定期便就航に向けてエプロン増設、サブターミナル整備などの機能強化が急がれます。



2 王子公園再整備

Q1 市民ヒアリング等を踏まえた、王子公園の再整備基本計画の素案が公表された。快適な緑化空間の創出などの具体的なイメージも示され期待しているが、一方でスタジアムや駐車場の建物にまだ懸念の声がある。景観への配慮や防音対策はどのようなものか。

A1 スタジアムや駐車場などは、六甲山の山並みを背景とした公園全体の景観と調和させるため、建物のボリューム感を軽減し、山の稜線を阻害しないよう配慮し、壁面緑化や周辺の植樹などで修景を行う。スタジアムの北側には防音壁を設置、また

観客席の屋根や壁への吸音材の使用など音対策と、指向性に優れたスピーカーの導入などで騒音基準を遵守する。あわせて周辺への光漏れについても対策していきたい。

▼川沿い園地 整備イメージ



再整備基本方針(素案)

みんなの広場 整備イメージ▼



駐車場 整備イメージ▼



Q2 動物園の中で、日常的に学びに触れることができる場として動物科学資料館は動物園に入場しなくても無料で立ち寄れる施設としてはどうか。

A2 動物園の有料入場者と動物科学資料館のみの来館者との動線の整理の課題はあるが、今後リニューアル計画を進めていく中で、よりよい運用について検討したい。

王子公園駅前から動物園エントランスを望む



大学ゾーンから南側を望む



▲緑の広場 整備イメージ

3 小売市場の課題解決への支援

Q 昨年来、震災復興のシンボルとなってきた市内の小売市場の閉店が相次いでいる。周辺との競争や、後継者難などの課題が主に報道されたが、事業の売却により、兵庫県の中企業高度化資金の返済資金を得るために廃業したケースも聞いている。現在営業中の市場でも、多額の債務が残り、営業の継続が厳しい市場もある。市はこれまで小売市場は地域の活性化やコミュニティの維持のために必要とし、集客力

や売上げの向上を支援してきたが、持続可能性について実態を正確に把握をし、県とも連携しながら本質的な課題解決を模索するべきではないか。



A 中小企業高度化資金貸付は、小売市場以外にも多くの組合などに貸付けが行われ、それぞれ返済のために経営努力をされてきた。小売市場を取り巻く状況は厳しいが、新たな事業に前向きに取り組もうとしている小売市場もある。それぞれの状況を確認しながら施設、環境整備のハード面、にぎわい創出、集客のソフト面への財政支援や人材派遣を通じて小売市場の活性化を図りたい。

4 猫との共生の実現に向けた啓発

Q 本市では「人と猫との共生に関する条例」を制定し、地域猫活動に取り組んできた。猫の殺処分率は減少している一方、いまだ無責任な餌やりによる野良猫の増加や、餌の放置による衛生環境の悪化、ふん尿等のトラブルなどが絶えない。猫の飼育に関するリテラシーを高めなければ、猫との共生は実現しない。地域住民で情報共有できる媒体での一層の啓発が必要ではないか。

A 野良猫への無責任な餌やりには、これまででもポスター、チラシ、広報紙KOBÉ等で周知を図ってきた。また、シルバー世代によるパトロールの実施、衛生監視事務所や委託先の警備会社等による現場確認、餌やり後の片づけ等の指導を行ってきた。一方で、飼い猫は国の飼育基準で室内飼育に努めることとされており、周知は図っている。より多くの方に餌やりマナーと、猫の適正な

飼育方法を周知できるよう、啓発資材の作成、ペットショップや動物病院、自治会掲示板等へのポスターなどで一層の啓発に努めたい。

決算特別委員会では、
●マイクロチップ登録情報を活用した効果的な指導
●苦情対応において、法効果的な指導を行うためのガイドライン制定などをさらに提案しました。

information



◀H29年に猫によるトラブルと殺処分をなくすために定められた神戸市独自の条例です。



譲り受けに関心のある方は
こうべ動物共生センターへ
飼い主を探している保護猫・保護犬と出会えます。
※見学は要予約
こうべ動物共生センター
神戸市北区あわせの村 1-21
10:00~17:00 (休館日: 火曜日・年末年始)

5 多様な共同生活の困難解消を支援する制度

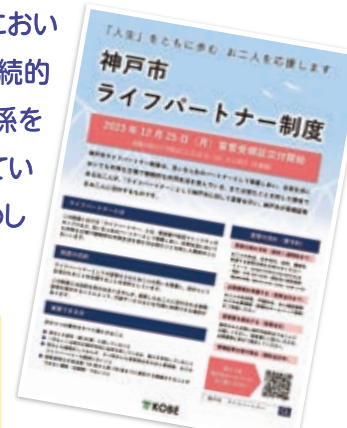
Q 市長は、いわゆるパートナーシップ制度の年内実施をこれまで表明されてきた。本市では先行してきた他都市の制度の課題を踏まえた制度とするべきだ。対象を広く定義し利用のハードルを下げ、事実婚の方や、婚姻関係になくとも生涯支え合って共同生活を営みたいと考える方を支援する制度とし、制度の名称も工夫すべきと考えるがどうか。

A 幅広い市民の理解促進が課題で、対象者を性的マイノリティの方に限定した場合、制度を利用することがカミングアウトにならないよう配慮を求める声もある。本市では様々な方に寄り添った対応を大切に考え、同性・異性などの性別にかかわらず、互いを人生のパートナーとして尊

重し合い、日常生活においても対等な立場で継続的に支え合う2人の関係を対象とし検討を進めている。制度内容にふさわしい名称も検討したい。

12月25日から「神戸市ライフパートナー制度」がスタートしました

くわしくは神戸市HP →

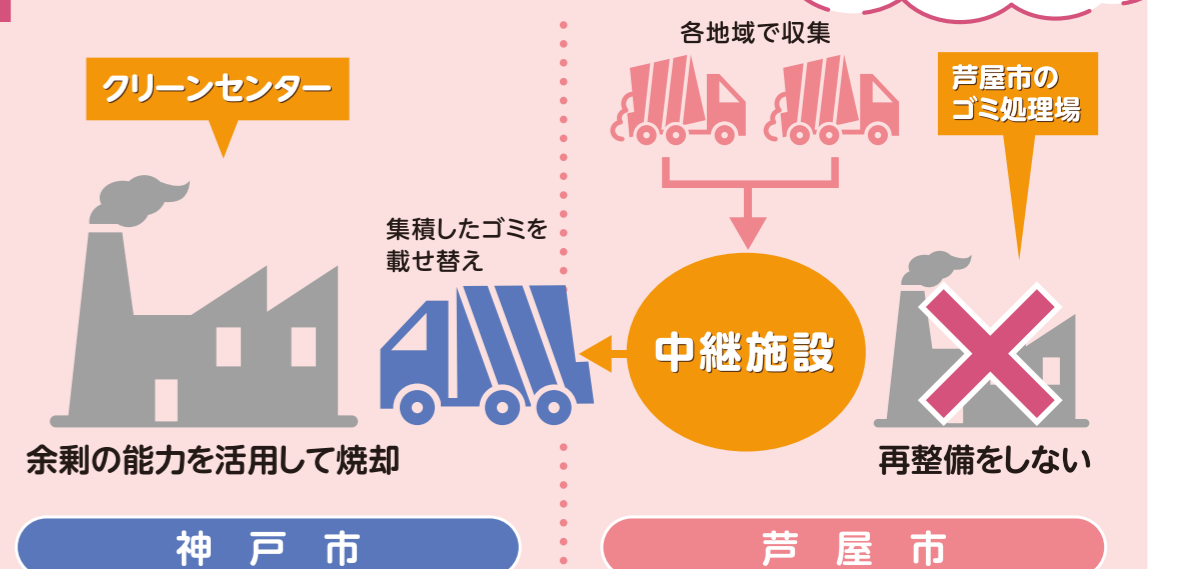


6 環境施策における周辺都市との連携

Q 先日の芦屋市議会で、高島芦屋市長が「近日中に神戸市に環境施策の連携に向けた協議をお願いする」と表明した。芦屋市議からもごみ処理の広域化について推進の声が上がっている。芦屋市との連携をどのように進めるのか。

A 芦屋市では処理施設建替え計画策定と並行し、近隣自治体との協働の可能性を模索し本市と協議したい旨を表明された。①ごみの減量化・再資源化の連携、②一般廃棄物処理施設の連携、③その他、環境施策の3点の申入れがあった。今後どの部分がどのように連携できるのか協議を進めたい。

芦屋市とのゴミ処理連携のイメージ



●広域でみたCO₂の排出削減
●発生した電力の売却による収入増などのメリットが!